

平成 22 年 8 月 9 日
三菱ガス化学株式会社
三菱商事株式会社

ベネズエラにおけるメタノール合弁会社の第 2 プラント操業開始について

三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：酒井和夫）ならびに三菱商事株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小林健）は、ベネズエラにおける Pequiven（国営石油化学公社）とのメタノール製造販売合弁会社である「Metanol de Oriente, METOR S.A.」（以下「メトール社」という。）において、年産 85 万トンの第 2 プラントの操業を開始いたしました。

メトール社は、2006 年末に本投資決定を行い、プラント建設を進めてまいりましたが、2010 年春にプラント完工、試運転を経て、2010 年 8 月からメタノールの商業運転を開始しました。関係者の多大な支援・期待のもと、順調なスタートを切り、生産能力は現行の年産 75 万トンから年産 160 万トンに増強されました。

メタノールは多くの川下製品を持つ基礎化学品の一つで、主にホルマリン、酢酸などの化学品用途の原料として使用されています。またバイオディーゼルや DME（ジメチルエーテル）など、幅広い用途での利用拡大も見込まれております。現在の世界需要は年間約 42 百万トンですが、今後も年率 4-5%の成長が見込まれております。

メタノール事業では競争力のある原料天然ガスを確保することが成功の大きな鍵であることから、近年、中東や南米の産ガス国にて各社の設備の稼働が開始している状況ですが、三菱ガス化学ならびに三菱商事は、いち早く両地域での事業展開を行ない、ベネズエラにおいても 1994 年からメタノール生産を行ってまいりました。

三菱ガス化学および三菱商事は、本投資によって米国、欧州、南米を中心とした世界市場での販売数量を拡大し、メタノール市場におけるプレゼンスをさらに高めてまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>
三菱ガス化学株式会社 広報 I R 部 柴田
TEL：03-3283-5041
三菱商事株式会社 広報部報道チーム 吉田
TEL：03-3210-2511

(合弁会社の概要)

1. 会社名	Metanol de Oriente, METOR S.A.
2. 所在地	Jose, Etado Anzoategui, Venezuela
3. 資本金	136 百万 US\$
4. 出資比率	
	Pequiven 37.50%
	三菱ガス化学 23.75%
	三菱商事 23.75%
	International Petrochemical
	Holdings Ltd 10.00%
	I F C 1.00%
	自社保有 (金庫株) 4.00%
5. 生産能力	第1プラント：日産2,200トン (年産750,000トン) 第2プラント：日産2,500トン (年産850,000トン)
6. 生産技術	三菱 (MGC/MHI) メタノールプロセス ※ MGC と三菱重工業株式会社が共同保有するプロセス技術
7. 資金調達方法	国際協力銀行・国際金融公社を中心とするメトール社融資契約
8. 従業員数	210名 (現地採用従業員)

以上